
君に逢えたから・・・

えれな

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

君に逢えたから・・・

【Nコード】

N8961C

【作者名】

えれな

【あらすじ】

中三なのに、恋愛経験ゼロの女の子がちょい不良少年との恋をするが・・・恋以外にも、いろいろな悩みが・・・彼や周りを見返すために、転校することを決めた。

彼女になれたら・・・

君に逢えたから・・・

自分を変えることができたよ。

本当に、人をスキになることができたよ。

あの時は、強がりだったけど・・・今なら、ちゃんと言えるよ。

スキにならしてくれて・・・本当に「ありがとう」

夏休みが終って、学校は、ますます勉強モードになつてきた。

やっと、大事なテストが終って、息抜きにトモダチと遊びに行くことになった。

三連休の最後の日に、夏美と一緒にカラオケに行った。

昼ごはんは、もちろんいつものファミレス。

頼んだメニューが全部そろって食べ始めた時、夏美がいきなり話始めた・・・

「あのさあゝ山ヒロ別れたんだって!!」

「ええゝあんな、ラブラブだったのに?!」

山ヒロのことは、スキではなかった。

でもなぜか・・・その話を聞いた時うれしい気がした。

山ヒロは、夏美の男トモダチ。イケメンなのは、微妙だけど・・・男らしい感じのする人。

夏にあった部活の大会で、プレーしている所を見たり、

トモダチから彼に胸キュンされられた話を聞くと、

そんな人が彼氏ならいいのと思ってしまう。

「なんか、山ヒロが振られたらしいよ!」「えっ!振ったんじゃないの??」

正直驚いた、山ヒロが振ったと思った・・・彼女の方がずっと大スキって感じだったから。

「ウチだったら、ぜったい振らないし・・・ってか、振れないよ」

思わず、口から出てしまった。

その時、本当に思ってたんだ。もし、付き合えたら、ぜったいに振らない。

振れないよ……。だって、ウチは、そんないい女の子じゃないから……。

「あつ！そういうば、山ヒロ誰でもいいから彼女ほしいって言ってたって！」

「えっ！それ本当？」「うん。たぶん……。ってか何でそんな気にしてんの？」

「えっ！別に……。でも、ウチにもチャンスがあるのかなあ」と思ってた……」

何で、あんなこと言っただろう……。言っただけで後悔した。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8961c/>

君に逢えたから・・・

2011年1月19日22時09分発行